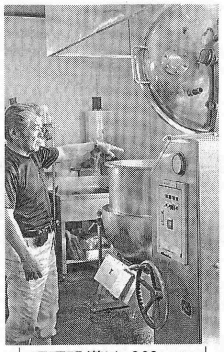
レトルト製造、100個から

マルミヤ食品

食品加工のマルミヤ食品（焼津市、宮城鉄男社長）はレトルト食品の開発・製造を少量でも受託するサービスを始める。魚や肉、野菜など地域の特産品を生かした「ご当地カレー」など様々なレシピを提供し、100個から製造する。食品メーカーなどからの受託が落ち込むなか、小規模な農林漁業者でも利用しやすくし、顧客層を広げる。初年度に3000万円の売り上げを目指す。



調理設備は300キログラム程度まで対応（焼津市のマルミヤ食品）

レシピ100種提供／規格外品も活用

地産地消の農家開拓

新サービスの「レトルトクリエーション」はまず、依頼主から持ち込まれた食材をもとに、完成品に関する要望を聞いてサンプルを作製。味や食感などを調整したうえで、レトルト食品を作る。開発期間は約1カ月。原則的にアルミなどで密閉したパウチ包装だが、瓶詰めにも対応する。外箱のデザインは別に外部企業を紹介する。

レトルト食品などの受託製造では「1回に500個や1万個といった単位の受注が一般的」（宮城社長）。新サービスは100個から受託する。内容量も様々なサイズに対応する。スーパーの地産地消コーナーなどで販売したい農家などの利用を期待する。「食品メーカーがサンプル用に委託することもある」と見る。

基本のレシピは「ご当地カレーや炊き込みご飯のもと、煮物など100種類以上を用意した」（宮城社長）。収穫量や時期がごく限られた農産物を長期保存できるよう加工したり、規格外品を有効活用したりといったことにも対応する。受託価格は材料などで変わるが、開発費を含めて基本的に100キログラム（200グラム入りで500個）で10万円程度を想定する。

同社は食品メーカーなどから土産用のご当地カレーなどを受託製造するが、最近では土産の単価低迷などで受注が落ち込んでいるという。宮城社長は「大手と同じ真空加熱調理法で完全殺菌しており、新たな需要を開拓したい」としている。

遠州鉄道、売上高最高に

前期1551億円 百貨店など伸びる

遠州鉄道（浜松市）は21日、2012年3月期の連結売上高が前の期比6%増の1551億円と過去最高になったと発表した。昨年11月に新館がオープンした遠鉄百貨店（同）の影響で商品販売事業が伸びた。不動産事業も好調だった。純利益は同66%増の17億円。

百貨店と食品スーパー、自動車販売などの商品販売事業の売上高が前の期比4%増の1042億円。低迷が続いていた鉄道部門も微増で、「百貨店来店目的で利用が増えた」。販売が好調な磐田市や菊川市の分譲マンションをはじめ、不動産事業も2ケタ増だった。

13年3月期は連結売上高で前期比6%増の1640億円を見込む。

静岡労働経済局によ[illegible]

新卒採用[illegible]

経済団体[illegible]

文書保管事業に参入

遠州トラック 契約書・カルテなど

遠州トラックは21日、企業や役所、病院などから文書を預かり保管するトランクルーム事業に参入すると発表した。今夏に愛知県一宮市内の同社の倉庫の一部を改造してサービスを始める。ノウハウを蓄積して静岡県内にも事業を広げる。国内で貨物輸送の全体量が縮小するなか、新規事業で増収を狙う。

トランクルームで預かるのは契約書やカルテなど、法令で一定期間の保管が定められている文書が中心になる。個人情報や機密性が高いものが多く、情報流出を防ぐためのセキュリティー技術が求められる。親会社の住友倉庫の協力を得て文書保管の技術を習得した。今後は同社の既存の物流倉庫を活用し、文書保管拠点を増やす。

同日発表した2016年度を最終年度とする中期経営計画に盛り込んだ。沢田邦彦社長は「トランクルーム事業や流通業界からの物流受託など、事業領域を広げることで着実に業績を伸ばす」とした。16年度に連結売上高で11年度比35%増の306億円、営業利益は同49%増の12億円をめざす。

議会改革、菊川市1位に

県内 住民参加、11ヵ所で報告会

日本経済新聞社は全国810市区を対象に議会の情報公開や住民参加の進み具合などを調べた「議会改革度」調査をまとめた。静岡県内では住民参加が進む菊川市が1位（全国順位は38位）だった。ネットを活用した情報公開に取り組む静岡市や富士市も上位に入った。

県内トップの菊川市は2009年から毎年6月に議会報告会を11カ所で開いている。全17人の市議会議員が4班に分かれ、市民に新年度予算などについて報告。「若い人や女性の参加者も多い」（菊川市）という。2位の島田市も年2回、市役所など6カ所で報告会を開催している。

ネットを活用した市も上位に並んだ。4位の静岡市は議会報告会は開いていないが、06年から議会本会議の同時中継や録画をネット上で公開する。3月初めから4月上旬に情報公開など81項目について調査し、回答を数値化してランキングした。

スカイプランニングの天窓

スカイツリーの商業施設で採用

天窓メーカーのスカイプランニング（浜松市、外山勧社長）は、22日開業する東京スカイツリー（東京・墨田）の商業施設に同社の天窓が採用されたと発表した。水族館のエントランスなどに使われている。昼間は照明の役割も果たすため、省エネにもつながるという。

一般的な天窓は太陽光のまぶしさや暑さが問題となる。同社の「スカイトップライト」は直射日光を拡散する独自開発のシートとガラスを組み合わせており、均一な明るさで暑さを軽減できるという。昼間の冷房使用量を削減する効果もあるとしており、他の施設にも売り込む方針だ。

不燃素材の内装材

共和成産 古材の質感表現

店舗向け

住宅の内装・外装材を手がける共和成産（藤枝市、鈴木透社長）は不燃素材を使った内装材を発売した。木目を印刷した不燃材の表面に傷を付けることで古材の質感を表現した。デザインにこだわった店舗や商業施設などに売り込む。

開発したのは古材の写真を印刷した「ダメージボード」。突起の付いたローラーで傷や凹凸を付け、古材の質感を出した。窯業系の不燃材を使用し、6種類のデザインを用意した。厚さは6ミリと10ミリ。「厚みの異なるボードを組み合わせて貼ると古材の雰囲気が高まる」（同社）。古材は古[illegible]体時などに[illegible]め、供給量[illegible]え、内装に[illegible]

留学生対象のインターン

静岡県は[illegible]としたイン[illegible]の受け入れ[illegible]る。期間は[illegible]9月末まで[illegible]程度。企業[illegible]すれば延[illegible]る。実施に[illegible]

静岡

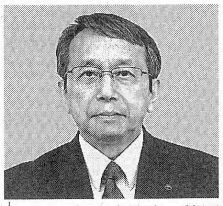
キーマン 私の視点

巨大地震への備え

津波対策、まず避難を

対策方針を11月に提示

県危機管理監 小川 英雄氏



1977年京大法卒、静岡県入庁。厚生部管理局長、危機管理監代理などを経て、12年4月から現職。58歳。

国の検討会が3月末に公表した「南海トラフ」の巨大地震による津波想定は県内に大きな衝撃を与えた。「千年に1度」とされる大災害に静岡県はどう取り組んでいくのか。4月に県危機管理監に就任した小川英雄氏に取り組みを聞いた。

――「南海トラフ」を受けた今後の対策をどう進めるか。

「県民の命をどう守るかに焦点を当てて取り組む。県はこれまでに2兆円以上かけて防災対策に取り組んできた。防潮堤は約9割整備できている。百～百五十年周期で発生するマグニチュード（M）8クラスの地震による津波はこうしたハードである程度は防げると考えている」

「南海トラフのような千年単位で起きる巨大地震による大津波は防潮堤で防ぐことは難しいが、津波の勢いを抑え、時間を稼ぐことはできる。市町は避難タワーなどを相次いで建設している。県も今年度に限り上限を撤廃して補助金を出す」

――国は近くさらに詳細な津波の高さ想定などを出す予定だ。

「県も国の発表を受け、11月をめどに対策の方針を出す予定だ。ハード面の対策も改めて議論するが、大津波からはひとまず逃げて命を助ける方策を探ることになるだろう」

――県の調査では、東日本大震災で実際に避難した人は2割弱にとどまった。

「そこが大きな問題だ。行動心理学や社会学の学識者の知恵も借りながら、どうすれば避難につながるのか考えたい。約30年間、県として防災対策に力を入れてきたが、非常食や水などを備蓄している家庭は震災後も大きくは増えていない」

――啓発、啓蒙が不十分ということか。

「例えば災害時にはまず、けが人を運ぶ救護所が指定されているが、どれだけの人がその場所を把握しているだろうか。県民がいざというとき、けが人を連れて行けなければ意味がない」

「行政の自己満足のような啓発ではなく、やればやるほど形に残り、広がるような仕組みを考えたい。南伊豆町は全戸にステッカーを配り、海抜何メートルかを玄関先に表示してもらうという。それを見れば誰でも、とどまっていいのか、高台にいくべきなのか分かる。そうした啓発や地域の防災力を上げるためのアイデアなど取り組みを支援する」

ソフト面対策 重要性増す

県の調査では[illegible]震災後もなお4[illegible]波から避難でき[illegible]認していない。[illegible]ハード面の整備[illegible]県民の避難行動[illegible]付くソフト面の[illegible]性は増している[illegible]ないが、全部[illegible]かした取り組み[illegible]い。

[illegible]を危機管理部の[illegible]0人から募る予[illegible]

――県民に必[illegible]は何か。

「南海トラフ[illegible]波の想定は避難[illegible]に考えるきっか[illegible]しい。眠くても[illegible]津波警報が出れ[illegible]げてほしい。そ[illegible]う最大の方法だ[illegible]

静岡支局 054-253-7191
浜松支局 053-452-8593